

暮らしに役立つ ハウスダスト・ダニ対策学習会

7月7日 第9地域委員会

サンスター(株)屋田菜那さんによるオンライン学習会は、参加者の「梅雨時期に困ること、気を付けているダニ対策」の発表から始まりました。「ダニ対策は、生きているダニだけでなく、ふんや死骸の除去が重要。高気密・高断熱な近年の住宅は暖房や加湿によりダニやカビが息しやすいので、冬も小まめにケアする必要があります」と屋田さん。布団のダニは天日干しでは死なないため、コインランドリーで乾燥までしっかり行うか、乾燥機が難しい場合は天日干しの後、掃除機をかけること。併せてダニケア用品を使うとなお良いそうです。皆さんも参考にしてください。



参加者に配付された「サンスター ピュアイズム 寝具クリーンケアミスト」

有機一番摘み煎茶の オンライン学習交流会

7月21日 第8地域委員会



「人と農・自然をつなぐ会」の杵塚民子さんを講師に、有機栽培、農薬無散布と減農薬、慣行栽培の違いを学習。「やぶきたみどり」は有機栽培で農薬無散布の安全・安心なお茶、と再確認できました。おいしいお茶の入れ方、保存方法、お茶の健康効果の他、「栄養成分が全て残っている茶殻は、捨てずにサラダや天ぷらに」「水出し冷茶にドライフルーツを入れる」などお茶の新たな楽しみ方を提案も…。「有機栽培の工夫、新しい分野への生産者の意欲が分かった」「かえて近くで話ができた気がする」と評判も上々でした。生産者の方々とつながりを感じる学びと交流のひと時になりました。

森と人 みんなイキイキ 割り箸から考える環境と福祉

7月31日 第5地域委員会

「国産端材の割り箸」が日本の森林を守り、障害者の就労に貢献しています。認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK、鹿住貴之さんにオンラインでお話を伺いました。

国土の7割を占める日本の森林は、林業の衰退や農山村の過疎・高齢化で荒廃、災害にも影響している現状です。持続可能な資源である木



事前に資料を受け取って学習もバッチリ! HPでは援農や林業のお手伝い体験情報も紹介。http://juon.or.jp



福祉施設で作られた「樹恩割り箸」を手に小学生の質問に答える鹿住さん

を生かすために、端材の活用を通して、都市と農山漁村が支え合うネットワークづくりを推進するこの活動、ぜひ多くの人とシェアし、広めたいと感じました。未来のために!

「総代・サポーター交流会」

7月8日 さんぼんすぎセンターにて集会&オンライン産地訪問/第6地域委員会



「総代・サポーター交流会は今後につながる良い機会になりました。」などの前向きな意見も聞かれ、交流会は今後につながる良い機会になりました。



久しぶりの産地訪問はスクリーンで生中継

2020年度の第6地域の総代とサポーターに感謝の意を込めて、「総代・サポーター交流会」を開催しました。
会の前半は、さんぼんすぎセンターに集まった総代・サポーターと、千葉北部酪農農業協同組合の村上沙記さん、生産者の鈴木耕太郎さんをオンラインでつないで産地交流会。生産者の鈴木さんは牧場を始めた頃のことから牛や牛乳への思い、毎日の仕事について語られました。また、子牛の様子を牛舎からカメラ中継したり、クイズを出題するなど随所に工夫を凝らした楽しい交流となりました。
会の後半では、総代・サポーターが1年間の活動を振り返りました。メンバー一人ひとりから昨年度の活動報告を聞き、意見交換も行って参加者同士の交流を図りました。
終了後には「今回のような集会所とオンライン産地訪問を組み合わせる企画は、遠い産地や、なかなか入ることができない場所ともつながりがあるので、通常企画としても有効では」「現地に行けなくても、牛舎の様子や鈴木さん、村上さんの思いが聞けた。参加して良かった」「フリップを使ったクイズは、思わず「へえ」という内容もあり、盛り上がった」とたくさんの感想が…。
また、総代・サポーターから「やり残した感がある」という声がある一方で、「これからできる限り参加したい」などの前向きな意見も聞かれ、交流会は今後につながる良い機会になりました。

インフォメーション



理事会報告 (抜粋)

- 〔2021年度第3回定例理事会2021年7月22日開催〕
- 〔審議事項〕●2021年度第47回通常総代会のまとめ確認の件(その2)
- アルプス処理水海洋放出に反対する署名運動の取り組み
- 〔報告事項〕●組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- 子会社関連会社への役員員の派遣に関する件

今後の理事会日程(予定)

10月21日(木)
11月18日(木)

7月のわたしたち

2021年7月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	258,284人 [102.9%]	総事業高	12,387,054千円 [96.8%]
加入	2,878人 [51.4%]	共同購入事業	11,923,454千円
脱退	3,481人 [112.8%]	弁当配食事業	122,725千円
		生活文化事業	56,297千円
		生活支援事業	25,642千円
		その他事業	258,935千円

★出資金	6,712,608千円 [103.1%]
★1人あたりの出資金	25,989円 [99.2%]
★1人あたりの利用高	6,652円 [93.0%]

東都生協NO₂測定濃度分布図(2021年6月)

2021年6月3日～6月4日に測定したNO₂(二酸化窒素)の測定結果

東都生協は「身近な所の空気を実際に測り、自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればいいか?」を考えていただくことを目的に、1988年から二酸化窒素NO₂測定活動を実施し、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」*に提供しています。この連絡会では東都生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開。毎回の地道な測定活動の積み重ねが、大きな運動を支えています。

測定日の概要

- 測定日時: 2021年6月3日(木) 午後6時～6月4日(金) 午後6時(前後2時間を有効とする)
- 天候: 6月3日(晴れのち曇り) 平均風速: 3.2m/s
6月4日(雨) 平均風速: 5.2m/s
- 参加人数: 241人
- カプセルの配布数: 268個
- カプセルの返却数: 253個 (回収率: 94.4%)
- 有効測定数: 209個 (有効回収率: 78.0%)

測定結果

今回測定したNO₂(二酸化窒素)の全体平均濃度は、風雨の影響もあり、過去5年間に測定した6月の平均濃度より低い数値になりました。()内は前年値
全体: 0.014 (0.018)、東京23区: 0.015 (0.020)、
東京多摩地域: 0.012 (0.017)、埼玉県: 0.012 (0.023)、
千葉県: 0.020 (0.014)、神奈川県: 0.011 (0.015)

都内の大気汚染常設監視測定局が測定したNO₂平均濃度は、道路沿いが0.011ppm、住宅地は0.006ppmでした。なお、環境省が定めたNO₂の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

大気汚染測定運動東京連絡会

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され、有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。

